

Kyoto Building Maintenance Association News No.63

公益社団法人 京都ビルメンテナンス 第63号

発行日/2013年10月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会



平成25年度 労働安全衛生標語 京都協会作品

あせる気持ち ちよつと待て 気持ちの余裕に 事故はなし

慣れた手に 初心の心 宿らせて 安心安全 プロの技

今日だけ、今だけ、ちよつとだけ、だけの数だけ危険あり

間宮 良治 近畿ビル管理(株)

竹内 温子 中信興産(株)

楠橋 明美 双葉メンテナンス工業(株)

CLEAN CREW



平成25年度 「京都市朱雀工房清掃講習会」無事終了

今年で16回目を迎える朱雀工房での清掃講習会。6月10日から始まった初級・中級コースの12日間、そして、7月22日からの上級コースの9日間、座学・実技指導、メニューいっぱいの講習、受講生と指導員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

京都協会が長年にわたり行ってきた障がい者支援事業ですが、回を重ねる毎に、色々な出会いがあり、指導員の方々のご苦労と喜びが交互に現れているようです。

一生懸命教える指導員、必死に学ぼうと頑張る受講生、作業が上手い時の指導員の喜びの声、受講生の満足そうな顔、傍から見ていると本当に清々しい気持ちにさせられます。

今年は、福田真衣(24年度上級講習修了)さんが、アビリンピックに再チャレンジす

るため、再度、上級講習を受講されました。現在、清掃の実業務に携わっておられるだけあって、見事な実技で、指導員の方から、アビリンピック京都府大会でもガンバレと声を掛けられておられました。

8月7日(水)15時30分、上級講習会終了後、朱雀工房の中島ジョブコーチより挨拶があり、協会並びに指導員の方々にお礼の言葉を述べられ、また、受講生の皆さんには、本当によく頑張ったねと労っておられました。

続いて、山本副会長より、6名全員に修了証書が授与され、最後に、古河副委員長より、受講生の皆さんに対し「実技は、単にタイムだけの競技ではなく、いかに綺麗に仕上げるかが目的であるということをお忘れなく」

い。受講中は、上手いかないことだらけで大変だったと思いますが、最後まで共に学んでくれて本当にありがとう、お疲れ様でした」と述べられ、2ヶ月にまたがる長い講習会が終了しました。



平成25年度 第1回経営開発セミナー開催

7月24日(水) 中小企業会館 参加者:22名 司会:松田氏 吉川氏 コメンテーター:滋野委員長

経営開発委員会主催による経営開発セミナーを7月24日(水)中小企業会館において滋野委員長を議長として、『ビルメンテナンス業界の問題点を考える』またその問題点に対して『さらに進化を続け未来に繋げるためにともに歩みだそう』というテーマで開催いたしました。

まず、雇用形態の現状と今後について



①人が集まらない②定着率が低い③募集費用がかかる等の苦労話の実態を各委員に意見を求めました。各委員からは現状でも人が集まらず、定着率が悪い状況にありながら、10年後には少子高齢化が進み20代、30代の若い世代の人口が減少することに加え、業界の労働力の中心である50代、60代の人が高齢化し、更に厳しい環境に陥るとの意見が大半でありました。

現状及び将来に対する対応策として「人材教育」をテーマに①募集方法②面接③育成とカテゴリーに分け出席各社より意見を求め、現状の取組、問題点をディスカッション方式にて行いました。

「募集方法」ですが、募集にあたり費用が増加傾向にあり定着率も低く、適材適所の人材の確保が難しいとの問題

点に対し、求める人材をいかに安価に募集できる方法として、無料の合同面接会などの利用、従業員・協力会社からの紹介などがあるとの意見が出されました。

また「面接」時には従来の採用基準(人柄、挨拶、笑顔等)に加え、面接チェックシートの活用、性格テストを採用するなどの意見がありました。

「育成」については研修、資格取得・福利厚生などが一般的であります。一定期間勤続者に対し金銭・物品での永年勤続褒賞制度の確立、また、モチベーションを上げる施策としてスタッフリーダーに登用し、一定の報酬を与える等々興味深い意見が出されました。

各会員が抱える問題に対し、少しでも役立つようにと経営開発委員会は考えておりますので、セミナー開催時には、より多くの会員の参加をお願いいたします。

第23回 祇園祭クリーンキャンペーンに協賛しました

京都協会では、今年も、地域環境貢献事業の一環として、ポイ捨てゼロのきれいな祭りを目指した「祇園祭クリーンキャンペーン」に協賛しました。

期間中の活動として、クリーンボックスの設置(1500個 7/13～17)、KBS京都テレビスポット放送(6/26～7/17)のほか、市営バス・地下鉄の中吊り広告、京都新聞への全面広告、そし

てKBSラジオのCM等、全ての場面で当協会が協賛団体として掲示されました。

キャンペーン活動により、即、ごみゼロとはいきませんが、地道な活動により、散乱ゴミが少なくなって来ていることも実感しており、今後も、永続的な活動を続けることで、美しい街「京都」を守り続けて行きたいと考えております。



平成25年度 「第1回定例会議」開催

8月2日(金) 13:30～ 京都府中小企業会館 708会議室

本年も、京都ビルメンテナンス協会「第1回例会」が下坊総務委員長の司会のもと、開催されました。

まず、矢口名誉会長よりご挨拶があり、7月21日に行われた参議院選挙への会員各位のご協力に対し、お礼を述べられ、選挙に関する報告をされました。

続いて、花田会長より、全国ビルメンテナンス協会定時総会への出席報告があり、決算、常勤の定年期間延長に伴う退職金支給規定の変更等、そして、京都協会から厚生労働大臣表彰を河本前副会長、永年勤続者表彰を吉川事務局長がそれぞれ受賞されたとの報告がありました。

また、京都府との「災害協定」締結に伴う「災害支援活動」の組織編制にあたり、会員各社より1名以上の人員協力をお願い

したいとの依頼がありました。

続いて、各委員会より、8月23日(金)のビルクリーニング基礎講座開催、9月3日(火)・4日(水)の三重県への研修旅行、10月8日(火)13時30分からの安全衛生大会(京都テルサ)開催等の案内がありました。

そして、来年は、京都協会が50周年を迎えるにあたり、平成26年5月21日午後より、ホテルグランヴィアにて記念式典を開催させて頂くことが決定しているとのお知らせがあり、内容については検討中との事で、近畿地区の協会会長はご招待させて頂くとの事でした。

過日の全協総会の様相が、来年からはテレビで実況中継されるそうで、出席者だけではなく、広く皆様に見て頂けるようにな



るとの報告も有りました。

例会の終了に際し、花田会長より「この例会が、ただ報告を受ける場としてだけではなく、会員各位から多くの意見が出ることで、活発な意見交換が出来る場にしていきたい」と述べられ、定例会は閉会しました。

例会に出席させて頂き、会員企業の皆様が集まるこの例会が、意見交換や情報交換の場として、有効に活用出来ればと思います。

平成25年度 KBMA 研修旅行と

第15回 KBMA チャリティーゴルフコンペ

9月3日(火)・4日(水)

平成25年9月3日(火)・4日(水)1泊2日の日程で、恒例の研修旅行及びチャリティーゴルフコンペが挙行されました。今回の研修旅行には37名が参加、松坂、熊野方面に向け出発いたしました。

初日は、京都八条口を9:00に出発、観光場所の三重県 松坂へ向かいました。

1つ目の観光地『松坂城跡』に11時頃に到着、古城跡地の散策と本居宣長記念館を見学、その後、松坂城の警備を任務されていたと云う御城番屋敷を見学し、古城の雰囲気十分に堪能した後、お天道様が急がすように雨が降ってきたことから、一路昼食の焼き肉へ向かいました。昼食は焼き肉食べ放題ということから、「松坂の肉」を美味しくいただき、みんな満腹。昼からは、奥伊勢県立公園に位置し天然の風致に富んだ森厳佳境の霊境に鎮座する『頭の宮四方神社』を参拝。『頭の宮』と名づく神社は、日本で唯一ここだけ『頭の宮さん』として、特に首より上の諸祈願に信仰



を集め、全国各地から参拝に来られているそうで、参加者一同、それぞれの想いを込めて参拝いたしました。

初日の観光は、雨模様の中無事終了。宿泊地の『熊野千年KoDo季の座』では、景色の良い露天風呂でのんびり、日頃の疲れも癒されました。

2日目は、ゴルフ組と観光組に分かれました。ゴルフ組の24名は、天候を気にしながら、いざゴルフ場へ出発。一方観光組は、朝食をゆっくりといただき宿を出発。出発前突然の大雨に遭い出発が遅れましたが、世界遺産に選ばれた『熊野古道 ツズラト峠』の散策を行いました。自然豊かな古道を、マイナススイオンを体いっぱい吸収し観光組は、日ごろの体の疲れを癒され元気に散策を行い、一路次の目的地『瀧原宮』へ。11時頃には『皇大神宮別宮 瀧原野宮 瀧原竝宮』に到着。瀧原野宮 瀧原竝宮は、ともに皇大神宮の別宮で、昔から『大神の遙宮』と言われており由緒のある別宮となっています。別宮は、巨木が立ちならんでおり、神秘的な参道に皇大神宮別宮の格式を感じ参拝しました。

昼食後は、齋宮歴史博物館を見学。博物館では、齋王とは、どんな人だったのか、齋宮とはどういうところだったのかの説明



を受けた後、20分程度の映画を見せていただきました。

また、ゴルフ組は伊勢の名門コースである「伊勢カントリークラブ」でのプレイであり、全員楽しみにしていましたが、雨が降り止んだりの天候で、更に終盤には雷が発生し、全員最後までプレイ続行が不可能となり、ハーフラウンドのみのスコアで結果発表がおこなわれ少々残念な結果となりました。

2日間、あいにくの天候でしたが、参加者全員が親睦を深められた有意義な研修旅行となりました。



「ビルメンヒューマンフェア'13」出場に向けて

今回の「ビルメンヒューマンフェア'13」は、10月30・31日の2日間、埼玉県《さいたまスーパーアリーナ》にて開催されます。30日に行われる第3回障がい者支援シンポジウムでは、昨年の全国障がい者技能大会（通称アビリンピック大会）京都代表で金賞受賞者の奥野真穂さんが、実演会にて実技を披露されます。

奥野さんは出場に備え、8月19日に、中小企業会館708会議室にて、午後1時30分から京都協会指導講師4名の指導により、1回目の練習をされました。

内容は、A.第一課題（カーペット床清掃）・B.第二課題（弾性床清掃及び机上清掃）の作業を練習されました。さすがに10ヶ月ぶりを行う作業に、戸惑いを隠せない様子の奥野さんでしたが、回数を重ねるごとに感覚が戻ってきたようで、スムーズな身のこなしと作業時間の短縮等、そ

の回復ぶりには目を見張りました。

現在、奥野さんは三重県でお仕事をされていますが、今後は「休日を利用して練習し、実演会に臨みたい」と意欲満々です。

さらに、今回のメインイベントである、「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」が31日の午前9時30分からコミュニティアリーナで行われ、近畿地区代表（京都協会所属）として、南部翼（中信興産株式会社）さんが出場されます。

今回から競技ルールが大きく変わるとのこと、これまでの大会では、コート面積が検定試験と同じ4×4m四方でしたが、今大会からは、4×5mと奥行が1m長くなり、コート内の備品も従来の机と椅子に加え、洋服掛け、書庫の計4点となりました。そして、最大の変更点は、「作業動線は選手自ら工夫して執り行う」というもの



奥野さんと京都協会講師

です。ルール変更により、今まで以上に選手の技量が求められ、中身の濃い大会になりそうです。

このルール変更に備え、現在、南部さんは関係各位のご協力を得て、猛練習に励んでおられます。

どうぞ、皆様、機会がありましたら「ビルメンヒューマンフェア'13」にお立ち寄りいただき、代表選手に声援を送って頂ければと思っております。

KBMA Information [10月から12月の予定]

【公益事業委員会】

- 委員会・合同会議
 - ・12月6日 協会事務局 会議室
- ビルクリーニング基礎講座・中級
 - ・10月17日（第123回）
 - 京都府中小企業会館 801会議室
- ビルクリーニング基礎講座・中級
 - ・11月19日（第124回）
 - 京都府中小企業会館 801会議室
- ビルクリーニング基礎講座・中級
 - ・12月6日（第125回）
 - 京都府中小企業会館 801会議室
- ビルクリーニング基礎講座・上級
 - ・10月17日（第125回）
 - 京都府中小企業会館 801会議室
- アビリンピック全国大会に向けた練習会
 - ・10月21日
 - 京都府中小企業会館 708会議室
- アビリンピック全国大会に向けた練習会
 - ・11月19日
 - 京都府中小企業会館 708会議室
- 防除作業従事者研修
 - ・11月6日
 - 京都府中小企業会館 709会議室
- 【安全衛生委員会】
- 委員会開催
 - ・10月8日 京都テルサ 朱雀
 - ・11月12日 協会事務局 会議室
- 京都ビルメンメンテナンス業安全衛生大会
 - ・10月8日 京都テルサ大ホール

【経営開発委員会】

- 委員会開催
 - ・11月5日 協会事務局 会議室
 - ・12月12日 がんこ二条店
- 【青年部会】
- 部会開催
 - ・10月16日 協会事務局 会議室
- 世界の京都・まちの美化市民総行動
 - ・11月4日 京都市役所前広場
- 青年部全国大会IN香川
 - ・11月13・14日 香川県
- 【広報委員会】
- 委員会開催
 - ・11月8日 協会事務局 会議室
- KBMAニュースVol.63(秋号)
 - ・10月 発行予定

【総務厚生委員会】

- 委員会開催
 - ・11月7日 協会事務局 会議室
 - ・12月12日 がんこ二条店


会員の變更事項

【正会員】

- 代表者変更
 - 株式会社シティービルサービス
 - 代表者/渡守宏美
- 住所変更
 - ワタキューセイモア株式会社
 - 〒600-8416 京都市下京区烏丸通り高辻下
 - 薬師前町707 烏丸シティ・コアビル3階
 - TEL:075-361-7511 FAX:075-361-3317

コラム

「仏像について」その2



● 如来とは？

なぜ「如来」と呼ぶのかという「如来」は真理という意味で、真理を発見して覚りをひらいたお釈迦様がその真理の世界から「やって来た」という意味で「如来」と呼ばれています。

ちなみに一般にいう「仏」はイコール「如来」のことで「仏さま」という表現をする場合は覚りをひらいた仏（如来）だけでなく菩薩・明王・天も含みます。

- ① 釈迦如来 仏教の開祖お釈迦様の像。全ての仏像の基本形。
- ② 阿弥陀如来 「なみあみだぶつ」と念仏をとなえると臨終をむかえた時極楽浄土へ連れて行って、人々を救ってくれる。
- ③ 大日如来 宇宙の果てまであらゆる人びとを救ってくれる。他の如来に比べてとてもスケールの大きい仏さま。
- ④ 薬師如来 左手に持つ薬のツボであらゆる病気を治し、寿命を伸ばし、衣食を満たしてくれる現世利益の仏さま。